



No.31 2012.6.28発行  
 群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報  
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>



## 高崎高校の応援が応援団賞優秀校に選ばれる。

31年振りとなる第84回選抜高校野球大会出場。雨による二度の順延をものともせず甲子園に集結した大応援団。今大会トップクラスの音量に加え、羽織袴姿のリーダー、裸足の応援部員そして黒制服の生徒達による「バンカラ」で硬派なイメージが、かえって新鮮さを感じさせたことが評価された。三塁側アルプススタンドを埋め尽くす男達。生徒とともに、太く力強い声援を贈ったOBの存在も、この受賞に繋がったと言えよう。

### 小須田部長の観戦記 「甲子園の神様」

硬式野球部 | 小須田 和彦(79期)

「高崎高校×近江高校」大会3日目第3試合の組み合わせが決まってしまうと、会社の人事部に3月23日(金)の休暇届けを提出しました。

当初のスケジュールはこうでした、23日(金)に甲子園に応援に行き、その後大阪なんばに移動して「すき焼きはり重」で祝勝会兼同期野球部の同窓会、翌24日(土)は大相撲大阪場所に「白鵬」の応援、25日(日)昼帰京。



『はり重』にて

ところが、甲子園の神様がちょこっとイタズラをしました。23日は雨天順延、24日は3回ノーゲーム、25日の第4試合。何と云うことだ!しかし、甲子園のアルプススタンドで「高崎高校校歌」を歌うことに優ることなどありません。スケジュール変更です。

甲子園の神様は、ちょこっといい事もしました。23日の雨天順延で「報道ステーション」スポーツコーナーで「高高野球部」の特集を放送してくれました。特集を見て、山際淳司著の「スローカーブをもう一球」をもう一度読みました。

特集と言えば、甲子園開幕前日(3月20日)のNHK特集で「開催か中止か! 2011年センバツ苦悩の選択」を放送していました。素晴らしい番組でした。昨年の大震災の8日後の「臨時運営委員会」で、春の甲子園大会を開催するのか?中止するのか?を決定するまでのドキュメントでした。開催派と中止派の意見が分かれていました。東北高校野球部選手の家全員の無事が確認されることが開催の絶対条件でした。

ここで、甲子園の神様が活躍します。

「臨時運営委員会」の前日に連絡が取れなかった最後の家族の無事が確認されるのです。また運営委員会の最後が劇的です、中止派の委員が開催を支持し、「全会一致」で開催を決定したと発表するのです。委員会の覚悟を示したかったのです。

甲子園の神様は奇跡も起こします。

4月14日、21日放送のNHKの土曜ドラマ「あつこと僕らが生きた夏」です。2007年夏の甲子園の大分県代表「楊志館高校」がノーシードながら予選を勝ち抜き甲子園でベスト8進出の奇跡を起こす実話を基にしたドラマです。2年生女子マネージャーが上咽頭癌にかかり、ナインが何としても彼女を甲子園に連れて行くぞと熱く燃える姿を神様が見逃さなかったのです。涙なしでは見られませんでした。

さて、甲子園の三塁側アルプススタンドです。甲子園の神様がちょこっとオフザケをしました。最前列に陣取って応援していた姿をNHKの中継に一瞬映したのです。すぐにメールに着信がありました。甲子園に応援に来れなかった高校の同

級生・大学の同級生・会社の後輩です。この時、甲子園で母校を応援できる喜びを感じました。



中央が小須田部長(筆者)

今回、「高崎高校」には甲子園の神様は微笑みませんでした。

これは「甲子園での一勝はそんなに甘くないよ」と言うことなのだろうか、はたまた「また来いよ」と言ってくれてるのでしょうか!?どちらにせよ、甲子園の神様に会いに行けて、幸せでした。

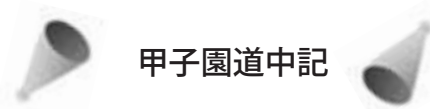
う〜ん、次は何時だろう!

夏もいいな!!



**小須田部長とは:**大学卒業後、フジテレビ入社。1997年10月、ヤクルトスワローズの優勝決定試合中継の為「ダウンタウンのごっつええ感じ」の特番が急遽中止になりダウンタウ

ン松本人志らを激怒させ、その後吉本興業をも巻き込んだの番組打ち切りに発展した要因を作った事の責任を取る形でスポーツ部に左遷される。1997年12月の明石家サンタの史上最大のクリスマスプレゼントショーで電話口で号泣した結果、電話接続後たった8秒で合格してしまった。小須田先輩がモデルとなった「小須田部長」は、1999年11月から2001年9月までフジテレビで放送された「笑う犬の冒険」で内村光良が演じていたキャラクターである。



## 甲子園道中記

応援部 | 鈴木 伸生(80期)

まだ日が昇らない、真っ暗な時間にバスは出発しました。応援部OB会と藤岡翠巒会他総勢30名を乗せたバスは、異様な熱気に包まれて、甲子園を目指して上信越自動車道を西に向かって走って行きました。

住まいや年代も異なり、初めて見る顔も大勢いましたが、親しくなるのにさほど時間はかかりませんでした。同窓生とい

うだけで短時間で旧知の仲になれるのは、高高的の伝統の一つでしょうか?

窓の外が明るくなり、昔話に花が咲いていると、携帯電話にメールが届きました。

「本日の3試合は、雨のため明日に延期になりました。」

バスの中は、このメールで一気に宴会場になりました。車内では、杯が入り乱れ、校歌や翠巒、天行く翼、級会の歌が響き渡っていました。

「明日は近江高校に勝って校歌を歌いたい」

みんなの願いを乗せたバスは、平等院や石山寺を見学した後に宿につきました。宿では夕食を兼ねた宴会が用意されており、舞台狭しとリーダーやサブリーダーが飛び回っていました。

翌朝、再びバスに乗り、甲子園球場に向かいます。甲子園での初勝利が一日遅れになってしまいましたが、いよいよ、数時間後に迫ってきました。駐車場から球場まで、土産物屋で埋め尽くされた通りを10分ほど歩くと球場が見えてきました。三塁アルプス席入場門には、エンジ色のメガホンを持った人が黒山の人だかりを作っています。毎年ビューホテルで見か



創業明治11年  
総合建設業・一級建築士事務所  
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001  
認証取得

**株式会社 研屋**

専務取締役 清水 正郎 (野球部・75期)

本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

野球部OB **ハワイウォーター**

小林 均 (77期)

有限会社 小金

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614  
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

野球部(OB会長・62期)

代表取締役社長 **川手 義昭**

**群馬小型運送株式会社**

高崎市飯塚町1068 TEL 027-362-1000

株式会社 **エイテック**

高崎市中泉町811 TEL 027-372-8111

ける顔が甲子園球場に集結しています。これだけの声援があれば、必ず勝つと信じて、アルプススタンドに陣取りました。

「プレイボール!」

主審の試合の開始を告げるコールが小雨交じりの球場に響き渡りました。昨日から降った雨でグラウンドは既に水浸し状態です。外野手が走ると水しぶきがあがります。そんな状況下でのプレーに在校生、OBが必死に声援を送りましたが、3回の表まで終了した頃、雨が急に強くなり、氷の粒も混じってきました。



3月24日、3回表に雨のため試合が中断

試合は一時中断され、結局この日は、再開されることはありませんでした。

「再試合は、明日3月25日の第4試合です」このアナウンスを聞くと溜息が漏れました。

「えっ!明日の第1試合じゃないの?」  
日曜日の第4試合では、その日のうちに群馬まで帰れるか心配です。乗ってきたバスも延泊は出来ないで、30人で来たバスは、25人を乗せて、高崎を目指しました。

私を含めて、残った5人は2泊目の宿泊先である姫路市に向かいました。甲子園球場付近はもとより、神戸周辺にも宿が取れず、姫路まで行くことになったのです。

25日はせっかくの機会なので、姫路城を見学した後、電車に揺られ、球場には3時頃に着きました。2回戦ではありませんが、今大会2度目の試合です。

学生服に身を包んだ現役生徒が肩を組み、体を揺らし、声を限りに叫ぶ姿は、三塁側アルプススタンド全体に共鳴し、敵陣を圧倒していました。裸足で駆け回る応援部員からは気迫が感じられます。こうした応援風景を見ていると、31年前に対戦した星陵高校との試合が思い返されます。当時、高校3年生だった私は、卒業式は終わっていましたが、後輩と一緒に学生服で、このアルプススタンドから応援していました。

試合は、前日のあっさりした攻撃から

一転、じっくり相手の様子を見ながら慎重な攻撃が続きます。1回の表、4番キャプテン金子君のレフト線へのタイムリーヒットで1点を先制すると、スタンド全体が悲鳴に近い声に包まれ、メガホンを叩く音が鳴り響き、興奮は最高潮に達しました。

「これで勝つかも说不定!」

そう思ったのも束の間、その裏には追いつかれ、3回には逆転されました。4回に再び同点に追いつき、攻守に粘りを見せるものの無念のゲームセット。高高的2度目の甲子園はこうして終わりました。しかし、4月4日の閉会式の時に応援団賞が発表され、バンカラな応援と豊富な声量が評価されて優秀賞に選ばれました。

甲子園初勝利は、また持ち越しとなってしまいましたが、大きな夢を見させてもらった現役野球部の皆さんに感謝するとともに、全国各地から甲子園に集まってくれたOB諸兄に敬意を表し、そして、この夢の続きが見られることを期待してペンを置きたいと思います。

「♪伝統よ 更に栄えあれ♪」



**秋山土地開発株式会社**

代表取締役 秋山 賢治  
(応援部OB会 会長 74期)

藤岡市中大塚223番地1 TEL.0274 (24) 3911

『自分らしい、いい就職』を“ふるさとで働く”を応援します。

**就活応援団**  
[www.shukatsu-ouen.jp](http://www.shukatsu-ouen.jp)

TEL 027・310・2080 (81期・応援・藤井)

**RISE® ライズ総合保険**

代表取締役 富田 和弘 (応援部 85期)  
武山 雄海 (バレー部 102期)

群馬県高崎市若押町25-18 TEL 027-322-2364

## 特別寄稿

## ねんりんピック熊本大会に出場して

剣道部 藤木 正行(69期)

「ねんりんピック」とは満60歳以上の高齢者を中心とするスポーツ・文化・健康と福祉の総合的な祭典で正式名称を「全国健康福祉祭」と言います。国民体育大会と同じく各県持ち回りの開催であり、昨年は熊本県の13市町村で各種競技が展開されました。スポーツ種目には剣道、弓道、サッカー、マラソン、グランドゴルフ等々、文化種目には囲碁、将棋、健康マージャンなどがあります。12月に還暦を迎えた私はこれを遡る4月の群馬県予選で優勝し、本戦初出場を果たしました。剣道は5人の団体戦で行なわれますが、先鋒から中堅までの3人が65歳未満、副将が65歳以上70歳未満、大将が70歳以上と言う年齢構成です。つまり私は一番の駆け出しと言う訳です。世間では一般に還暦を迎えたとすっかり年寄りと言う感覚ですが、剣道の世界では勝手が違い、この武道は奥深い要素を持っています。例えば現在七段の私が年齢70歳前の八段の先生に5分間の稽古をお願いするとしましょう。先生から何本の有効打突が奪えるか?といったら、おそらく0本か1本でしょう。その間に相手からは確実に7、8本は打たれています。「それは藤木がよほど弱いからなのでは?」との疑問が浮

かぶかと思えますので、尺度の参考にひとつの事実を記してみます。2年前の高校総体直前でしたが、余興で母校現役選手と壮行試合を行ないました。私は休憩なしでレギュラーとの連続5試合のハンディです。結果は私の5勝0敗か4勝1引き分けだったと記憶しています。因みにこのチームは直前の公式試合で県内ベスト4の実力です。このように剣道に関しては、「年配者を侮る無かれ」なのです。

さて、本題の大会ですが、高崎駅から始まったバス移動などの全ての行動がシルバー向きで、「手を取り、足を取り」「至れり、尽くせり」なのには恐縮致しました。バス・飛行機の座席表をはじめ、全ての行動予定表が3ヶ月も前から作成されており、乗り遅れや迷子になりたくてもなれない状態です。又、熊本県内の飲食や観光施設は殆どIDカードを提示すれば割引価格。試合スケジュールも安全面を考慮して、1日2試合までと決まっています。そして、愈々迎えた最大イベントの総合開会式は我々の予想をはるかに超えたスケールでした。ご当地出身の柔道家山下泰裕氏が聖火台へのロケット点火を行って開会し、園児から高齢者までの約3,000人の有志が

2時間以上に及ぶ数々のアトラクションを披露し、水前寺清子が唄い、県営陸上競技場の壮大なページェントは幕を閉じました。曇天で始まった式典でしたが、幸いな事に式典終了直後の降雨となり、延べ何万人もの事前の努力が水泡に帰せずに誰もがほっと胸をなでおろした事でしょう。「ねんりんピックの開会式など知れた物」と高を括ってゲートを潜った私でしたが、感動と興奮と猛省の開会式でした。

さて肝心の試合は3本勝負での福岡・香川両県とのリーグ戦でした。福岡県には勝者数2対1(3引き分け)で勝利しましたが、香川県には勝者数1対1(3引き分け)の同勝者数ながら本数1本の差で負けしてしまい、予選リーグ突破はなりませんでした。本大会に向け、夏には福島・埼玉・宮城などとの交流大会で優勝していただけに、自信を持って望みましたが、残念な結果に終わりました。(幸いな事に私は、両試合とも勝利いたしました)次回私が予選に参加出来る平成25年度は高知県での開催になります。今から闘志を燃やしておりますので、他の翠巒体育会の方と出場出来れば幸いに思います。是非一緒にご参加下さい。



カーエレクトロニクス グッズ&サービス  
**群馬電装株式会社**  
 本部・サービス部: 高崎市江木町117  
 TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627  
<http://www.gunmadenso.co.jp/>  
 代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

高々剣友会  
**会長 藤木 正行**  
 (剣道部69期)  
 高崎市南大類町1296  
 TEL 027-352-0026

(有)カサイ消火器  
**笠井 秀昭**  
 (剣道部56期)  
 高崎市江木町67-10  
 TEL 027-321-8222



バレーボール部

**KIZUNA** 沼賀 信宏(75期)  
忘れられない試合

昭和50年7月4日発行の高高新聞には「バレーボール、堂々たる初優勝!」の文字が大きく踊っていた。

5月中旬に開催された第10回高校総体で念願の初優勝を果たしたのだ。

前年度まで宿敵高商の監督を務められていた菊地俊二先生が高高に赴任されて最初の大会であり、その菊地監督が自分たちのベンチにおられることはとても心強くもあり、ちょっと不思議な気持ちでもあった。

今大会、高高は準々決勝で桐高を2-0、準決勝でも前商を2-0で破り、相手に2ヶタ得点を許さない快進撃で予定通り高商との決勝まで進んだ。

この試合の様様を高高新聞の記事を引用してご紹介させていただく。

「第1セット高高は、相手が宿敵高商ということもあって、幾分緊張し凡ミスを繰り返し9-15とこのセットを落としてしまった」

「第2セット、土壇場に追い込まれた高高はここでズルズルと引き下がり奮起した。田口、佐々木(現・須賀)、沼賀、丸山、堀口らがビシビシスパイクを決める。セッター深田の好リードも見逃せなかった。結局、気迫が勝って高商を圧倒しこのセットを15-8で取った」

「ファイナルセット、高高は速攻とオープン攻撃をうまく交え高商のレシーブ陣を激しく揺さぶった。また再三再四にわたる好プレーを見せ、館内をわかせた。試合は進み、高高リードのうちに主砲沼賀が足にケイレンを起こして一時退場している間、高商も元気を取り戻し、沼賀に代わって出場した1年生金子の健闘も及ばず、追いつかれてリードを奪われてしまった。しかし、傷のいえた沼賀がコートに復帰すると12-12に追いつき、そのまま一気に押し切って15-12で勝利した。高高のすさまじい闘志には目を見張るものがあった。優勝への執念というものがよくわかった。」

私にとって勝って泣いた初めての試合であり、今、思い返せば夢のような時間であった。

この試合は菊地監督の兄弟対決(高商の監督さんは実弟)ということでも話題となり、試合後、高高新聞は「やはり兄貴は強かった」と伝えている。

私はエースポジションを任されていただけで、決して「主砲」ではなかった。同期7人で身長180センチ以上は田口、須賀の両君だけで、緑の下を支えてくれた黒岩君を含め残り5人の身長は170センチ前後しかなかった。それでも皆、驚くほど切れのあるスパイクを打っていた。

現在の体育館の半分を更にネットで半分にして体操部と分けあい、全体の4分の1がいつもの練習場だった。決して長くない練習時間、狭いコートで、常に「前よりも高くジャンプしよう、次はもっといいコースに決めよう」という練習態度が小粒なわりに攻撃的で集中力を発揮できるチームの基礎を創った。高高バレーの「特有の強さ」の原点はこのような逆境を仲間と楽しむことができたところにあると思う。

長年に渡り高高バレー部の顧問を務められ、去年ご逝去された岸 清先生は「生徒と適度な距離を保ち、信じて見守る」という指導方法、高度のユーモアでゆっくり人を育てることができる、ちょっぴりのんびり屋の愛すべき先生であったと心から思う。

底抜けに明るい高高バレーの「特有

の強さ」は岸先生が初めから計算されていた「当然の強さ」だったとしたら、まったく先生には恐れ入る。

最後に岸先生の著書「煎茶道の世界・心とかたち」の中にある「高高バレーボール部の活躍」というコーナーをご紹介させていただく。昭和41年卒(第65期)から昭和57年卒(第81期)までのバレー部員の名前、大会名、対戦校、スコア等がまるで戦利品でも紹介するかのように列挙されており、私自身、多少なりとも関わられたことを誇りに思う。

また、同著書には高高バレーについて先生の熱い思いが次のように書かれている。

「チームワークにより困難をのりこえ、己に克ち、優勝によって苦しみは喜びに転化し、小さな英雄たちに自信と誇りを植え付け、人間性を育てていくことでありましょう」

「選手たちに同情し、理解してやることは、彼らを伸ばす上で大切なことです。が、必要以上に甘えさせたり、過保護であることは慎みたいものです。将来にわたって、社会にいきるための哲学・知恵・体力と人格を身につけていけるようなバレー部の発展を皆様とともに願い祈るわけであります」 岸 翠巒

私は岸先生の教え子の一人として先生の思いを受け継ぎ、改めて心より感謝の意を表します。



**KIZUNA** 高橋 孝治(79期)  
第9回春高バレーの思い出

昭和53年2月、高崎中央体育館で「全国高等学校バレーボール選抜優勝大会」(春高バレー)北関東大会決勝が行われた。高崎高校対高崎商業の高崎市にある高校同士の対決である。高崎高校の監督は菊地俊二先生(52期)、高崎商業の監督は菊地勝之先生(59期)で、ともに高高のバレー部OBでもあり、兄弟対決としても話題になった。

高崎高校は県予選2位で北関東大会

1991  
TGS  
June  
●各種業務請負 ●人材派遣  
●軽貨物運送  
●ハウスクリーニング  
**株式会社 東国サービス**  
高崎市大八木町2119-19 TEL. 027-387-0923  
バレーボール部OB 87期 坂本 弘

税理士 **高橋浩生** バレーボール部OB(78期)  
**白井浩一** 水泳部OB(89期)  
高橋浩生税理士事務所  
〒3700072 高崎市大八木町3002番地10  
TEL 027-363-6303 FAX 027-363-6302  
URL [http://www.kaikei-home.com/cpta\\_hiro/hp/](http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro/hp/)

バレーボール部OB(79期)  
**ケンマ商会**  
猿谷 稔  
〒379-2166 前橋市野中町397-2  
TEL・FAX 027-263-1198



第9回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会開会式

に出場し、栃木県1位のチームに勝ち、高崎商業は県予選1位で栃木2位のチームに勝ち、決勝に進出してきた。

決勝戦は高高の両エース清水道之さん(78期)、高橋浩生さん(78期 ※現在の翠巒体育会会長)の大活躍により優勝し、春高バレーに初出場することになった。私は1年生ではあったが、ピンチサーバー(※ピンチサーバーとはピンチを招くサーブを打つひとではなく、ここで1点を欲しい時にサーブを打ったり、チームのムードを変えたいときに入ったりするムードメーカー的な役割である)として決勝戦のコートに立つことができた。しかし、テレビカメラが回っていたし、大きな大会で緊張したこともあり、打ったサーブが相手コートまで届かなかったのである。本当に緊張して何がなんだかわからなかったことを今でも覚えている。しかし、自分がコートに立っているときは高高のムードは変わったと確信している。

春高バレーは、インターハイと並ぶ全国大会で、テレビでも放映されるととても大きな大会なので高校バレーをするものにとっては一番目標とする大会であった。当時の高高バレー部は6月のインターハイ予選まで部活を続けたい3年生がほとんどだったので、なおさら重要な大会だった。

春高バレーは3月の春休みに大会が行われ、(※今現在は冬高バレーとして1月の初旬に行われている)高高は1回

戦岡谷工業と戦った。岡谷工業は、長野国体強化チームであり、強豪であった。その岡谷工業に勝利した。ベスト8を賭けた対戦相手は藤沢商業で、優勝候補の筆頭であった。高高は善戦をしたが、藤沢商業の前に敗退をした。この大会最終的には藤沢商業は優勝をした。

私は北関東大会と同じく、ピンチサーバーとして出場した。北関東大会での経験を生かして本来の自分の力が出せたと思っている。

翌年自分の代になり、春高バレーは北関東大会決勝で足利工業大学附属高校に敗れ、春高バレー連続出場の夢は叶わなかった。

高高バレー部で学んだことは、レシーブの大切さ。床から少しでもボールが上がってれば、カバーできること。そしてどんな状況であっても、決して諦めない気持ちである。

自分は高高バレーで教わったことを大切に、今現在中学校でバレーボールの指導をしている。生徒たちにも自分自身が学んだことを一番大切にさせている。その成果がようやく実を結び、平成23年度に関東大会で3位になり、全国大会に出場することができた。また12月に行われた全国都道府県対抗中学校バレーボール大会において、群馬選抜チームの監督として準優勝することもできた。

今後も中学校バレーの指導者として、高高に進学をしてバレー部に入部する選

手を一人でも多く育てたいと考えている。

高高バレー部には昭和53年以来となる春高バレー出場を願っている。自分を含めたバレー部OB全員が応援しているので、是非とも頑張ってもらいたい。

最後に翠巒体育会・高崎高校の益々の発展と活躍を祈念しております。



KIZUNA 細野 英貴(100期)

## 高高でのバレー生活

平成10年度は、高高バレー部にとって素晴らしい年であり、その年に入学できた私はとても幸運でした。非常に熱心な顧問の指導の下、素晴らしい先輩たちに囲まれ、日々、切磋琢磨しながら過ごした数ヶ月間は、私のバレーボール人生の中でも特別なものでした。

日を追うごとに成長するチームの中にいて、新入生というプレッシャーの無い立場で、のびのびプレーさせていただき、大変ありがたかったです。日を追うごとに強くなるチームは、大会のたびに成績を上げていき、夏のインターハイ予選でとうとう優勝しました。あの時の感動は、今も私の心にしっかりと焼き付いています。インターハイ本戦では、負けはしましたが、とても良い経験になりました。

最高のかたちでスタートを切った私の高校でのバレー生活ですが、その後は、大きな壁にぶつかります。3年生の引退やけが人が出たことによる主力メンバーの交替です。2年生や同級生も素晴らしいメンバーがそろっていましたが、私は、環境の変化による感覚のずれに対応できず、スランプに陥りました。それからしばらくの間は、納得のいくプレーができず、非常に苦しみました。先輩方に大きな迷惑をかけてしまったのが、今でも心残りです。

1学年上の先輩が部活を引退すると、自分たちが最上級生となり、私はセッターに指名されました。正直に言って、やりたくないのと、セッターの資質が自分には無いと思っていたことで、1週間ほど

真木会 真木病院 高崎PET総合画像診断センター  
 ガンの早期発見のためにペットドックを  
 高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411

永尾 俊弘 (水泳部 70期) 真木 武志 (バスケット部 72期)

拒否していました。渋々承知した私でしたが、初体験のセッターは、最後までとんでもなく下手くそだったと思います。そんな私がセッターでもチームが機能していたのは、周りが私をフォローしてくれたからだと思います。最後のインターハイ予選では、準決勝で敗れましたが、上位2校とそれほど実力の差は感じないところまで、チーム力は向上したと感じました。

慣れないポジションでうまくいかないことだらけでしたが、それでも、投げだそうとしたことは一度もありません。それは、バレー部での生活が楽しかったからだと思います。最少のときは、部員が10人しかいないときもあり、試合形式の練習では、顧問の先生に入っていたことありました。しかし、その分、上下の関係も良好で、まとまっていて良いチームでした。合宿になると、夜遅くまで語り合い(ふざけ合い)次の日の練習試合に支障をきたすこともありました。後輩には、

学校前の商店で、カップラーメンを食べながら、たくさん愚痴(それほど暗い話ではありませんでしたが)を言ったような気がします。すみませんでした。

仲間たちとの生活が楽しかった反面、バレーボール競技自体については、やりきれなかったという気持ちが残ります。当時の私は、精神的に幼くて、客観的にチームを見ることができずにいました。というより、自分の気持ちを優先させていて、チームプレーに徹していなかったのだと思います。今となっては、自分の変なこだわりなど重要でなく、勝つためにどうすればよいか、仲間と衝突してでも意見を言い合えば良かったと思います。しかし、終わってみて初めて、高校でバレーボールを通じ、仲間たちと過ごした日々が、どれだけ貴重で何よりも大切であるか実感できるわけであって、当時の私には、それを感じるのは、やはり無理だったのだとも思います。

幸いなことに、現在は、高校のOBを母体としているクラブチーム・翠巒クラブを中心に活動することができています。年齢的にいつまでプレーできるかわかりませんが、引退した後に、こうすればよかったと悔やむことが、できるだけ少なくなるように、できる限りのことはしたいと思います。また、当然、自分が楽しんでバレーをしたいことと、さまざまな活動を通じ、周りにもバレーを楽しんでもらい、少しでもバレーボールのすそ野を広げることができたらいいと考えています。

こうして高校時代を中心に振り返ってみますと、高校時代に経験したこと、人とのつながりというのは、今の私の核になっていると思います。これからも、先輩たちから代々受け継がれてきた伝統や文化を大事にしながら、私の経験も含めて下の世代に引き継いでいけたらいいと考えています。

# 23 事業報告

- 平成23年 4月18日
  - 第1回編集会議
- 5月22日
  - 高校OB対抗ゴルフ大会へ援助金
  - 高高同窓会ゴルフ大会より預金を渡す
- 6月1日
  - 関東大会出場の部へ祝金  
柔道部・陸上競技部・バレーボール部  
ソフトテニス部・軟式野球部
- 6月6日
  - 第2回編集会議
- 6月10日
  - 監査役会
  - 第1回役員会議・理事会議
- 6月22日
  - 第36回定期総会・懇親会
  - 翠巒体育第30号発行

- 7月15日
  - インターハイ出場の部へ祝金
  - 関東大会出場の部へ祝金  
インターハイ/柔道部(相撲)・陸上競技部  
関東大会/水泳部
- 8月17日
  - ゴルフ大会役員会議
- 9月4日
  - 第21回ゴルフ大会 (台風のため中止)
- 9月9日
  - 高校OB対抗ゴルフ大会(出場者慰労)
- 10月24日
  - 関東大会出場の部へ祝金  
硬式野球部・応援部
- 11月10日
  - 高崎高校マラソン大会 優秀者表彰
  - 陸上競技部高校駅伝関東大会出場祝
- 11月22日
  - 活性化忘年会

## 翠巒体育会23年度事業報告

- 平成24年 3月1日
  - 高崎高校卒業式
- 3月5日
  - 甲子園出場祝金  
硬式野球部・応援部



●関東、インターハイ出場の部へ祝金贈呈



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

Yoshihara Clinic

**吉原クリニック**  
内科・脳神経外科・外科



住所 高崎市中泉町 649-1  
TEL 027-360-6600  
FAX 027-360-6610

院長 吉原成哲(医学博士) 柔道部 75 期

**がんばれ**  
**高崎高校柔道部**

小見章雄 柔道部 66 期

23年度 翠巒体育会収支計算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

科目	金額	摘要
<b>収入の部</b>		
年会費収入	350,000	@25,000×14部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	210,000	@15,000×14部
親睦会収入	270,000	平成23年6月22日 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	0	平成23年9月4日 サンヨー72カントリークラブ
活性化忘年会収入	211,500	平成23年11月22日 魚とし
雑収入	201,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金
受取利息	106	群馬銀行
(当期収入合計)	(1,542,606)	
特別会計取崩金	100,000	特別会計より取り崩し
前期繰越収支差額	749,840	
収入の部合計	2,392,446	
<b>支出の部</b>		
総会・親睦会費	439,530	平成23年6月22日 高崎ビューホテル
現役等補助金	581,525	甲子園、インターハイ等 出場の運動部 マラソン大会、OB対抗ゴルフ
会報発行費	381,832	「翠巒体育」第30号
ゴルフコンペ費	121,935	平成23年9月4日 サンヨー72カントリークラブ
活性化忘年会費	268,500	
慶弔見舞金	25,750	
事務用品・通信費	62,797	
会議運営費	204,854	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	0	群馬銀行
(当期支出合計)	(2,086,723)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,086,723	
(収支差額)	(△544,117)	(当期収入合計)-(当期支出合計)
	305,723	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 平成24年3月31日現在

科目	金額	摘要
<b>資産の部</b>		
現金	9,731	現金手許有高
預金	295,992	群馬銀行高崎栄町 (普#0783238 一般会計分)
正味財産	305,723	

特別会計 平成24年3月31日現在

科目	金額	摘要
<b>資産の部</b>		
普通預金	601,098	群馬銀行高崎西 (普#0593363 特別会計分)
特別会計財産	601,098	一般会計に就いて 100,000円を取り崩しておきます。

口座振込ご利用の場合は、  
下記口座までお願い致します。

群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238

スィランタイクカイ カイケイ ヨシシヨウイチ  
翠巒体育会 会計 吉井章一

第36回定期総会・懇親会

バスケットボール部/塚本 浩史 (99期)

翠巒体育会の第36回定期総会・親睦会が、平成23年6月22日に高崎ビューホテルにて開催されました。平成22年度の事業報告、監査報告及び会計報告が承認された後、役員任期満了に伴う改選の議案について審議がなされました。

会長・副会長については平成23年3月30日の理事会にて推薦された高橋浩生会長が、副会長には谷一行氏と橋爪良真氏が退任し木村隆一氏(74期)、榎原一好氏(79期)の新任、その他の副会長については留任する案が提起され、いずれも承認されました。

また、会計は吉井章一氏(78期)への委嘱、監査は川手義昭氏、後藤次一氏、阿久澤茂氏の3名が退任し福島早人氏(77期)、清水元氏(91期)の新任が起案され、いずれも承認されました。新体制の発足に続いて平成23年度の事業計画、予算案の審議がなされ、いずれも滞りなく承認されました。

最後の議事として、本総会にて退任となる役員5名と本体育会へ多大な寄付をし

て下さった森山昭治氏(62期ラグビー部)へ感謝状が贈呈されました。この場をお借りして、改めて森山氏へ感謝の意を表させていただきます。

以上全ての議事後、第19回高崎高校同窓会ゴルフコンペ(幹事75期)及び第110回高中・高合同窓会(幹事81期)の開催周知と参加の呼びかけと、國峰善次郎顧問(50期)の挨拶をもって定時総会が終了しました。

引き続き開催された親睦会は、高橋会長、新任の羽鳥校長、児玉PTA会長、富岡高崎市長から挨拶をいただいた後、岩田顧問による乾杯の発声により和やかに始まりました。

会の中で各運動部の顧問の先生による活動報告と、HP掲載用の写真撮影を部ごとにおこないました。また、インターハイへ出場する部、全国大会へ出場する翠巒クラブ(バレー部OBチーム)と「ねりんピック2011」へ出場する剣道部OB藤木正行氏(69期)に祝金が贈呈されました。最後に参加者全員で翠巒を合唱し、山口顧問の御礼の挨拶をもって散会となりました。

●甲子園(野球部、応援部)出場祝金贈呈(高高校長室にて)



●剣道部OB 藤木さんへねりんピック出場祝金贈呈



●ラグビー部OB 森山さんへ感謝状贈呈



●バレー部OB会 翠巒クラブへ全国大会出場祝金贈呈



●第36回 総会・懇親会





## 第2回活性化忘年会

バスケットボール部／北嶋 聡二(87期)

翠巒体育会の活性化忘年会が平成23年11月22日、成田町の「魚とし」で行われました。この忘年会は翠巒体育会における若い世代の交流・親睦を深めることを趣旨として昨年から開催されました。今年は71期の大先輩から104期の若手まで約50人(14運動部)が出席しました。また高崎高校同窓会の幹事期(81期)の先輩も参加してくださいました。

会は高橋浩生翠巒体育会会長の挨拶から始まり、各部各人の自己紹介(自己アピール?)後、和気藹々とした歓談となりました。

様々な職種の出席者でしたので異業種交流として経済の活性化も少しは進んだのではないかと思います。(私も色々なOBの方々とは名刺交換させて頂きました。)

会の終わりには全員で肩を組み「翠巒」合唱し中締めとなりました。

高橋会長を始め、活性化忘年会幹事の皆様方、大変ご苦労様でした。非常に楽しい時間を過ごさせて頂き深く感謝致します。是非次回も参加できればと思います。



●活性化忘年会(魚とし)

## 24年度 高崎高校PTA会長

硬式野球部／岡村 武彦(74期)

74期野球部OBの岡村と申します。本年度PTA会長をお引受けすることになりました。運動部のOBでありながら「翠巒体育会」の活動には縁なく失礼しております。皆様には、ご指導、またPTA活動へのご協力よろしくお願い申し上げます。

高高におけるPTAにおいて、大きな問題はないものと思います?が、生徒たちの将来の可能性を十分引き出す一助になる、側面からの応援に徹していきたいと考えております。

さて「文武両道」と事あるごとに言われ

ています。私は「文は、社会を背負って立つ、他人の役にたつ人間になるための知識、見識、判断力を磨くことに必要。武は社会活動、集団活動をまとめていく、またリーダーシップを磨くなどのための体力、行動力、決断力に必要」「両方とも重要な教育である」と考えます。この双方もち得た人間を社会は要求している。高高はそういう人材を多数輩出できる高校です。生徒はそのスタート地点に立ったのです。「文」は「勉強」で基礎的な知識を養う。そのため近い目標は「志望大学への進学」であり、「武」の手段は「スポーツ・芸術など」でしょうが、その近い目標は、例えば「甲子園で優勝」(出場ではないく笑)などでしょう。大局的な目標とはもっと遠いところのものでしょうが、そのために生徒達は「今」具体的に掲げた目標に向って、できる限りの力で頑張ってほしいと思います。

高高のグラウンドは放課後、我々の時代と違って「凄人数」で驚いています。真の「文武両道」を実践し、大学等進路、部活動成績両方優秀な実績を作ってもらいたい、また世界・日本の将来を背負う人間がたくさん出てほしいと心より願っています。

# OB 各運動部OB会の近況報告



### 応援部

藤井 正弘  
(81期)

1月12日に新年総会・懇親会。28日の同窓会では昨年を上回る数の羽織袴姿のOBがステージに上がり校歌・応援歌のリーダーを

行いました。また、選抜甲子園出場にあたって、応援部伊藤顧問に祝金を贈呈し、木製ポールの修理や臨時応援部員用の腕章など備品購入に充てて頂きました。

OB会として会員へ寄付のお願いと、群馬バスの春山先輩(70期)が企画して頂いた応援バスツアーの案内を送付し、秋山会長をはじめ応援部OB会員と高高OB30名が1泊2日のツアーに参加しました。また、寄付を頂いた方へは、応援部OB会より、オリジナルTシャツを制作し進呈しました。

31年振りとなる甲子園アルプススタンドでの応援は、雨の

中、私と中山君(81期)が羽織袴姿で臨みました。持参したOBも他にいたのですが、入場の慌ただしさと土砂降りの雨で着替えられませんでした。応援部OBの勇姿を披露できず残念でした。甲子園での勝利は叶いませんでしたが、高崎高



[表彰盾と応援部員]



[3月23日 甲子園を目指す車中にて]

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、趣味のお集まり等に...

## 刺ま魚件

取締役社長 羽鳥 修司(卓球部・63期)  
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428  
FAX 027-326-7070

## 株式会社 システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルII 4-B  
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480  
URL <http://www.sysh.jp/>

## 株式会社大陸不動産

代表取締役 山口 正敏

(卓球部・58期)

高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031

校が『応援団賞優秀校』に選ばれ、応援団長に表彰盾が贈呈されたことは誇りに感じます。これも同窓のみなさまの絶大なる支援・応援の賜物と心より感謝申し上げます。



平成23年度の群馬県高校対抗陸上競技大会(いわゆる『学校対抗』)で現役諸君が大健闘してくれ、見事はじめての総合優勝を飾りました。

この大会は群馬の高校陸上競技では「高校総体」と並ぶビックイベントであります。陸上競技の場合、「高校総体」は全国インターハイの予選を兼ねた個人重視の要素が強い大会ですが、一方で『学校対抗』は各種目の順位を点数化して競う、文字通り『学校対抗』であります。64回を数えるこの大会では、これまでは私立高校あるいは陸上競技が「お家芸」的な一部の高校が総合優勝を独占してきました。そこへもって今回はこれらの牙城を突き崩してはじめての総合優勝を飾りました。これは平成23年の群馬県の陸上競技界の一大事件といっても過言と思われ(個人的には、野球部の2度目のセンバツ出場よりもニュース性は高いと思うのですが)。この一大事件、我々OBも歓喜に酔いしれ、興奮のあまりに祝勝会まで開催してしまいました。11月に高崎市内で開催された祝勝会には現顧問の先生およびこれまでの歴代顧問の方々を含めて、約30名が参加し祝杯を挙げました(浴びました?)。顧問の先生と現役諸君のお陰で我々OBはたいへんおいしい酒を頂くことができました。こんな酒なら何度あっても構いません。これを機に母校陸上競技部のため、後輩のため、そしておいしい酒を頂く機会を増やしていくためにも、顧問と現役生徒諸君の支援と協力をより一層パワーアップさせ、併せてOB間の交流も盛んにしたいと考えています。これまで諸般の事情によりOB会の活動に参加できなかった皆様もいらっしゃることと思いますが、この機会にぜひ1人でも多くの方にOB会の活動に参加していただけるようお願い申し上げます。そして、皆で一緒においしい酒を頂きましょう。



卓球部OB会は夏冬2回現役生との交流試合を行っています。このため卓球をするのは年2回だけというOBもいますが、熱心に練習をして大会に参加するOBも大勢います。卓球大会には公式戦とその他の大会があり、公式戦に出場するには年度毎に1つの所属クラブから日本卓球協会に登録する必要があります。OB毎に所属チームが違いますし、個人競技なので団体競技のOB会を羨ましく思っていたのですが、最近になって公式戦以外

の大会でも団体戦が催されるようになったため、榛名町の大会に

初めて「すいらんクラブ」としてチームエントリーを行いました。5シングルスで競う大会で残念ながら決勝戦で2-3と敗れ準優勝となりました。個人戦とは違った楽しさがありましたので、今後ともスケジュールを調整して参加したいと思います。もちろん卓球をしないOBの方が多いため秋のゴルフコンペと新年会は欠かせません。



[榛名町の大会で準優勝]

3月には長年ご指導をいただいた内田先生が退任されましたが、卓球部OBの中島先生を新顧問に迎えることができ、江原先生、長谷川先生の3人体制で現役生をサポートしていただけるようなので、OB会としても出来るだけの協力をしたいと思います。



雨で順延になった憂さを晴らす「ウォー!!」という地響きのような歓声。アルプススタンドは超満員。正直、鳥肌がたちました。(寒かったからではありません。)

野球部OBの長き思いと応援の迫力で自然と涙があふれてきました。「やっぱり高校野球はいいなあ。」と31年前を振り返りながら郷愁に浸っていると、雨天ノーゲーム(翌日再試合)というアナウンス。残念。応援に駆けつけてくれたみなさんに感謝です。



[ブラカードにはしゃぐ]

翌日の再試合、さすがにアルプススタンドは満員(アルプスが満員になることは滅多にない事だそうです。)というわけにはいきませんでした。高、高の肩を組んでの硬派なイメージの応援が『応援団賞 優秀賞』となりました。

昨年は、前高とのOB定期戦で屈辱的な大敗を喫し、翠巒ク



[前高とのOB定期戦]

**「Brand New Start ~新たな前進~」**  
**優勝目指せ!!**  
 高崎高校サッカー部OB会  
 会長 清野 哲雄 (74期)

ラブ(OB壮年チーム)も県大会を突破できずにいました。そんな中での甲子園出場とあって喜びもひとしおでした。OB会としては、『甲子園出場後援会』の1つの組織として、寄付金への協力、当日のチケット配布(私は、31年前もこの仕事しました。成長してませんね。)などの支援を行いました。また、事務長として中村先輩(73期)が尽力してくれました。ご協力いただいた全てのOBに感謝いたします。そして、何より甲子園という舞台はOB同士の絆をも深めてくれました。こんな機会を与えてくれた、境原監督(81期)、關根部長(82期)、そして現役諸君にも感謝です。今度は、夏の甲子園でかち割り氷を飲みながら、『校歌』『翠巒』を歌いたいと夢はふくらむばかりです。



## 柔道部

志田 登  
(82期)

永く高崎高校柔道部の顧問としてご活躍され、また、群馬県柔道連盟の繁栄と柔道の発展にご尽力された今井孝造先生が昨年8月4日にご逝去されました。

今井先生は、昭和23年4月に下仁田高等学校において教員生活をスタートさせ、高崎女子高等学校を経た後の昭和27年度の途中に高崎に赴任され、昭和47年3月までの19年半の間、高崎柔道部顧問として、数多くの部員の指導に当たられました。特に、昭和30年には今井先生の名采配により県予選を制し、インターハイ団体出場を果しております。また、今井先生の指導を受けた部員の中には、その後、競技者又は指導者として活躍されている方も少なくありません。

現在の柔道部顧問の田中先生が、約30年ぶりに柔道部員の相撲への参加を復活させましたが、柔道部員が相撲を兼ねて行うようになったのは、今井先生が顧問をなされていた昭和31年からとのこと。その年は、前年に続いての柔道でのインターハイ出場は果せませんでした。今井先生の指示により出場した相撲の県予選では、初出場で県予選を制し、インターハイ出場という成績を収めています(翠巒体育第2号「柔道部と相撲」(第57期石井清一氏)より)。

1月3日に開催した柔道部OB会新年総会では、例年行っている総会の進行を変更し、開会前に黙祷を行うとともに、例年行っている各OBの近況報告の時間を、今井先生の思い出をお話いただく時間に充てました。また、今井先生を偲ぶ文集を作成するための原稿提出の依頼が当OB会にもあったため、今井先生のご指導を受けたOBに周知をしたところ、21人のOBから原稿が提出されました。OBの皆様から提出された原稿は、今井先生のお人柄や功績を表わすだけでなく、高崎柔道部の歴史を示す資料となるものです。今後、貴重な資料として活用させていただきたいと思っております。

最後に、今井孝造先生のご冥福を心よりお祈りいたします。



## 剣道部

小池 政一  
(77期)

高崎剣道部は昨年度で創部60周年を迎えた。剣道は戦後、戦争に荷担したとの理由で、占領軍から禁止されていた。当然、学校の部活動としても剣道部は認められていなかった。当時を知るOBに話を伺うと、禁止期間には、こっそり防具・竹刀を持ち出して、護国神社の庭の目立たないところで、声をこらして打ち合ったそうだ。しばらくして解禁になると故郷中先生を顧問にさっそく部を立ち上げたのが高崎54期の先輩方だ。

OB会(高崎剣友会)では60周年を盛大に祝おうと祝賀会を計画。なかなか日程がとれず遅れたものの、3月17日(日)に記念祝賀会を開催した。祝賀会にはできるだけ多くのOBに出席いただこうと、2~3期に一人ずつ連絡員を委嘱し、その連絡員から開催通知を発送してもらった。また、同期で連絡を取り合ってもらうようお願いした。そうした努力の甲斐もあり、当日は旧顧問の先生方を含め総勢108名のOBの参加を得た。毎年開催の新年会の参加が40人前後である現状からすると、予想外の盛会であり、当初予定した椅子席もすべて取り払い、立食パーティーに切り替えての実施であった。何十年ぶりに合った先輩・後輩が、現役当時の思い出話に花を咲かせた。また、大学生をはじめ、多くの20代のOBが参加してくれたことも、大きな収穫であった。

さらに、60周年記念の品として、和手ぬぐいを作成したこともたいへん好評であった。元顧問の別府重龍先生にお願いしたところ、応援歌「翠巒」の一節である「鍛えし腕を君見よや」と揮毫くださり、高崎剣道部OBにとっては、たいへん貴重な記念品となった。

60周年で再び強化した剣友会の絆を今後も大切に、会の発展に努力していきたい。



## サッカー部

梅澤 義宣  
(81期)

翠巒サッカー部は清野会長のもと相変わらず活発な活動を続けています。現役、翠巒クラブ、翠龍ミドルFCが対戦し、その他OBの皆さんが一同に会してサッカーを楽しむ正月2日の初蹴り会に始まり、OB全体の総会・新年懇親会は母校だけでなく、前高のそれにも数名はお招き頂き交流を深めております。春になると、群馬リーグ3部の翠巒クラブ、シニア40リーグの翠龍ミドルFC、そして今年からはシニア50リーグに新参入を果たした翠龍FC50と、各年代でリーグ戦が始まっています。そして、夏には定期戦のごとく会場を前高・高崎交互に移動して、前高OBチームの蛟龍クラブVS翠巒クラブ、現役同士の対戦といった“交流戦”を続けています。写真は初蹴り会の時のもので、現役VS翠巒クラブの対戦前の記念写真です。今年は特別な年回りにあると言えるでしょう。現役時代甲子園出場を果たし、監督としても僕らみん

硬式テニス部OB(84期)

## 山口 正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!  
ブルデンシャル生命保険株式会社 町田支社  
TEL 042-710-2471 携帯090-9309-9492

硬式テニス部OB(83期)

## 長谷川 酒店

焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。  
長谷川 泰三  
高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

硬式テニス部OB(91期)

## 原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば  
高崎市倉沢町川浦3900-156 TEL.027-378-3132  
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>

なを甲子園に連れていってくれた同期の境原監督、そう31年前、甲子園出場に続け!と僕ら全国高校サッカー選手権大会に出場しています。現役のみんな!ぜひ全国の間へ!!



**バスケットボール部**  
塚本 浩史  
(99期)

日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。

さて、バスケットボール部は、平成23年7月2日に望観荘にてOB会総会を開催し会の活動方針を確認しました。今年も恒例となっている1月1日に開催される現役とOBの交流試合のみならず、現役支援の一環として現役生・父母会及びOBを対象とした講演会を3月3日に翠巒会館にて開催しました。

このような試みは今回で3回目ですが、今回は「弁護士の仕事」と題して橋爪健先輩(橋爪法律事務所 所長 74期)と「英語とバスケ身体学習論」と題して佐藤良明先輩(アメリカ文学生 69期)の2名を講師として招聘し、講演頂きました。

講演会の後は、高崎高校近傍の小紋にて講師の先生及び参加されたOBを中心に懇親会を開催し、意見交換や情報共有などで有意義な時間を過ごしました。



[総会]



[講演会后懇親会]

今後も若いOBの意見も取り入れチームの更なる飛躍に貢献したい所存です。



**ソフトテニス部**  
伊藤 篤良  
(110期)

毎年恒例のOB会、今年度は8月20日に開催されました。今年卒業して数ヵ月、久々のソフトテニス、まだ馴染みのある後輩がいる

ということで成長を楽しみに参加しました。天候はテニスをするのには絶好の曇りとなりましたが、連日の雨模様の影響で高コートは使用できるコンディションではありませんでした。しかし、上並榎のテニスコートが奇跡的に使えるということで場所を変え無事開催を迎えました。自分自身は数ヵ月ぶりの運動ということもあり体力の衰えを感じていましたが、同期のメンバーはもちろん先輩方もバリバリの現役で活躍ぶりは素晴らしかったです。勝敗は若干OB側が優勢ということで取り敢えずは胸をかせたのではないかと思います。現役メンバーは、知っている頃の姿とは違い顧問の井坂先生の指導のもと大きく成長を見せていました。しかし、最後の丸山OB会長のお話にもありましたが現役生にはもう少しガッツを見せて欲しかったなど思いますがとても大切なことです。高高の特徴として練習時間は限られたものとなってしまいますが、一瞬一瞬を大切に、試合では熱き思いが現れたプレーを期待しています。

P.S.

夜は大先輩を中心に萬嵐にて懇親を深めました。



[懇親会 萬嵐]



**水泳部**  
伊藤 祐司  
(75期)

水泳部OB会は1月7日、73期～82期の同窓生を水泳部顧問として指導していただいた丸山博先生の退職を祝う会を観音山・錦山

**情報システム株式会社**

榊原 一好  
(バスケット部 79期)

本社 〒370-0032 群馬県高崎市宿大類町1461番地1  
TEL.027-350-1277(代) FAX.350-1278

**株式会社 塚本工務店**

塚本 浩史  
(バスケット部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1  
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

**株式会社 大利根漬**

富沢 慎一・誠佑  
(バスケット部 99期)

〒370-3334 群馬県高崎市本郷町150-1  
TEL:027-343-6007 FAX:027-344-1588

荘で開催しました。

丸山先生が顧問の時期は、高高水泳部黄金期の一つ。夏の県大会2連覇をなしとげるなど活躍しました。丸山先生は、競泳が専門ではありませんでしたが、時には「暴走」する部員にも愛情を持って接し、水泳に真剣に取り組もう、というクラブの雰囲気をつくりだしてくれました。

当日は、74期～82期まで20人が参加し、先生の退職を祝うとともに、昔話に花をさかせました。

水泳は、丸山先生が顧問に就任した頃を境に、学校のクラブ活動からスイミングクラブに主力が移ったため、OB会も若手の参加が少ないのが悩みですが、この日は比較的「若い」OBも参加したため、未来に希望のもてる会となりました。





**バレーボール部**  
田村 真吾  
(103期)

平成24年1月3日にバレーボール部OB会の新年会が開催されました。毎年恒例となっております新年会ですが、この新年会には毎年来て頂いている方々のみならず、大学を卒業して地元へ戻ってきた若手の方々も最近はいらっしゃるようになり、益々盛り上がりを感じております。異なる世代の間での情報共有や、それぞれの現役時代の話などができ、とても有意義な会になっていると感じております。今後も、原OB会長を中心に高高バレー部OB会をより一層活性化させ、現役生の支援、翠巒クラブの活動を盛り立てていきたいと思っております。

高高バレー部OBを中心として活動を行なっている翠巒クラブにつきましては、昨年度、クラブカップ群馬県予選で準優勝することができ、全国クラブカップ大阪大会に出場することができました。結果としては2戦2敗し、グループ予選で無念の敗退となりましたが、この悔しさを胸に、より一層練習に取り組んでおります。今年度につきましても、クラブカップ群馬県予選が間近に迫っておりますので、短い時間のなかですが日々の練習を重ね、クラブカップ全国大会への出場、またリーグ予選突破を目指して取り組んでいきたいと思っております。

翠巒クラブの参加メンバーにつきましては、就職・転勤など生活環境の変化によって参加人数が集まりにくい状況となっている状況もありますが、効率的な練習や新メンバーのリクルー

ティングなどを継続して実施しながら運営を行なっていききたいと思っております。

一昨年度、現役生は12年ぶりにインターハイに出場することができましたが、昨年度は残念ながら2年連続出場することは出来ませんでした。翠巒クラブとしましても、バレー部の顧問である柴山俊広先生(103期)と協力しあい、微力ではありますが、練習試合等を中心に現役生を支援していきたいと思っておりますので、今後ともご協力を宜しくお願い致します。





**ラグビー部**  
相澤 悦朗  
(88期)

ラグビー部OB会では、現役部員とOBがグラウンドで一緒にボールを追うことによって結束を強めることを目的に「高々ラグビー祭」を2008年から行なっています。他校を招いての現役による試合、35歳以上と以下に分かれて県内猛者チームを相手に戦う対抗戦の後には参加者全員でBBQを囲みながら歓談し親睦を深めています。このBBQ大会では卒業したての新OBや新一年生の紹介、我がOB会が誇る真下昇先輩(日本ラグビーフットボール協会副会長)より例年贈られる日本代表グッズを目玉としたビンゴ&オークション大会などで大いに盛り上がります。ラグビーでは試合の後に杯を傾け互いをたたえ合う「アフターマッチファンクション」という伝統がありノーサイドの精神をよく表していますが、「高々ラグビー祭」ではまさに敵味方、老若男女(「女」を担うは保護者会のお母さん方、美味しい豚汁ありがとうございました)の垣根をこえてラグビーを愛する者の笑顔があふれています。



今年も3月31日に例年を上回る多くの参加者のもと、豊岡グラウンドを会場に第5回として盛大に行われました。現役の対戦相手には前橋高校を、OBの相手には群馬銀行・ビーバップ・群惑倶楽部の混成チームを招いてのゲームは緊張感あふれる白熱した内容になりました。ノーサイド後のアトラクションが始まる頃に天候が急変し、嵐のような強い風雨に見舞われましたが、「ラグビー愛」と「アルコール(発泡酒)の力」で克服、和やかに楽しい雰囲気のまま、OBと現役が円陣を組んで部歌・翠巒を

小4～中3 補習・高校受験

**翠ゼミナール**  
みどり

山岳部OB(79期) 吉井昭道  
応援部OB(85期) 木内寛樹

前橋市総社町総社1520 TEL.027-253-7036  
利根郡みなかみ町後閑329 TEL.0278-62-1379

山岳部OB(78期)

**税理士 吉井 章一**

吉井章一税理士事務所  
高崎市上中居町251 TEL.027-328-6701

山岳部OB(84期)

**代表社員・税理士 真下 哲夫**

税理士法人 真下経営  
高崎市倉賀野町1713 TEL.027-346-1463

唄う毎年恒例のフィナーレへとなだれ込みました。

また、新しい試みとして作成したOB会オリジナルポロシャツが好評を博し、用意した50着を完売し追加発注をすることに。オークションの収益と合わせ、少なくない金額を現役の強化費として役立てることが出来ました。

ラグビー部OB会では今後も年一回の新年総会・懇親会と「高々ラグビー祭」を活動の軸として継続し、OBの結束と現役支援を図ってまいります。また、活動の内容は「高崎高校ラグビー部OB会ホームページ」でも紹介していますのでぜひご参照ください。



**テニス部**  
濱名 和也  
(84期)

テニス部員の皆様、こんにちは。高経附で硬式テニス部の顧問をしている濱名です。高高テニス部に追いつけ追い越せで生徒

を鍛えているところです。

今年のOB総会は、8月11日(土)の13:00より高崎高校テニスコートをお借りしてテニス大会を開催する予定です。今年は現役生徒は新潟で合宿のこと。3年生で受験勉強の気晴らしでテニス希望の学生も、コートでお待ちしております。もちろん夜の部も開催いたします。詳しくは85期の北村君に任せていますのでそちらまで連絡してください。テニス部OB会ホームページ(<http://ttob.web.fc2.com/>)にも詳細を掲載いたします。

最後に高高テニス部の弥栄を祈念いたします。



【高崎市テニス協会春季クラブ親善大会にて】



**山岳部**  
吉井 章一  
(78期)

5月19日に3年ぶりの総会が39名の出席のもと行われました。約40年間に渡って会長を就任していただいた55期の清水正爾様が引退され、77期の松本基志様が新会長に推挙されました。長い間のご苦勞に対し、打合せにない花束贈呈を實行したところ、前会長にも感激していただいた様子でありました。

懇親会では、長年顧問をされていた高橋先生と現顧問の井上先生の出席のもと、昔話から現在の部員の状況まで楽しく懇談することができました。その中で、大分昔に妙義山に残してき

たレリーフが、現在所在不明との話に盛り上がりました。次回の総会までの宿題として、再び山に登る機会を得たようです。

いつものように山の歌そして翠巒を合唱し、お開きとなりました。



【総会・懇親会】



《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます



**應援部**

鈴木 慎哉

我々應援部は今年で六十一代を迎え、日々高崎高校應援のため精進を続けて参りました。現大学一年生の世代の部員が0名だったため、一時は廃部の危機とまで言われた我が部ですが、勧誘の甲斐あってか4名の新人部員を迎え総勢10名での活動となりました。伝統の輝きに負けない、素晴らしい應援部を作り上げる所存で御座います。

半世紀以上の歴史の中で、應援部は絶えずその存在意義を示すため前進をして参りました。各集会時の校歌・翠巒指揮。運動部應援の他にも募金等奉仕活動への参加。どの様な活動にも、常に全力で誠心誠意ぶつかって行く事で高崎高校発展の糧となれると私は信じております。これからも愛校心を忘れず、邁進をして参ります。

結びに、我々の活動は様々な方の御助力なくして成り立っておりません。皆々様へ今後も変わらぬ御指導、御鞭撻の程を御願ひ申し上げます。 押忍

**花園へ! トライ**  
高崎高校 ラグビー部OB会 会長 内田美樹(77期)



## 硬式野球部

小柏 秀平

我々硬式野球部は、境原先生、關根先生、島田先生、中島先生のご指導の下、夏の甲子園を目標に日々全力で練習に励んでいます。

さて、自分達は春の選抜甲子園に出場しました。その際、多大な支援やアルプスを埋め尽くすほどの大声援をして頂き、ありがとうございました。良い経験になりましたが、7対2で初戦敗退と結果を残せず、全国とのレベルの差を痛感しました。

今、チームは原点に戻り、その悔しさを胸に再スタートしています。技術の向上だけでなく、強い「心」づくりに励んでいます。グラウンド上での全力疾走はもちろん、挨拶や勉強にも全力でいきます。それが土壇場の集中力に繋がるはず。そして、自分達を支えて下さる全ての方々に感謝し、夏の甲子園を目指します。応援よろしくお祈りします。



## 柔道部

角田 裕祐

私達柔道部は、現在3年生2名、2年生3名、1年生4名の計9名で顧問の田中先生の指導の下、日々技術の向上に努めて練習に励んでいます。また他の強豪校と呼ばれている学校と比べると、比較的練習時間は少ない

ですが、その中でどこまで意識を高く持ち練習をより充実したものにするか、ということをご各自が考えながら取り組んでおり、練習は常に活気に満ちています。

新年度になって初めての大会である学年別大会では、3人入賞という結果を残すことができたので、この勢いに乗って今年の総体やインターハイ予選では、自分達の力を信じて一戦一戦全力で戦い、全国に高崎高校の名を馳せていきたいと思ひます。

顧問の先生やOBの方々、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずに部員一丸となって頑張りますので応援よろしくお祈りします。



## 空手道部

澁谷 隼人

「早く新しい環境に慣れなければ!!」という思いだった入学時からあつという間に自分達で環境を作る立場の学年になり、その間に部活動を通して沢山の経験をさせていただきました。年に数回行われる高体連主催の合同練習会(リーダー研修会)に参加させて頂くことで他校の先生方や男女を問わず生徒間で交流を持つ事ができ空手道を通して様々な意見を聞く機会を持つことができました。

個人的には環境、結果などに左右される事なく改めて自分自身の道を進み続けて行こうと強く確信させられた部活動でありました。この環境を頂けたことに感謝し文武両道の精神を必ず生かし今後の社会生活に繋げていきたいと思ひます。どうぞこれからも応援、ご指導よろしくお祈り致します。

個人的には環境、結果などに左右される事なく改めて自分自身の道を進み続けて行こうと強く確信させられた部活動でありました。この環境を頂けたことに感謝し文武両道の精神を必ず生かし今後の社会生活に繋げていきたいと思ひます。どうぞこれからも応援、ご指導よろしくお祈り致します。



## 軟式野球部

瀬下 将平

私達軟式野球部は3年生12人、2年生5人、1年生12人の計29人で野球を楽しんでプレーすることをモットーに活動しています。昨年、一昨年と先輩方は春の高校総体では「関東大会出場」という目標を掲げ、成し遂げ

てきました。自分達も「関東大会出場」を目標に今までやってきましたが、大会では自分達の野球が思うようにできず、一回戦敗退という悔しい結果に終わってしまいました。軟式野球部ではこの大会で引退する3年生が殆どなのでこの仲間と野球はできないですが、後輩達に伝えられるものは全て伝え引退します。

また、1・2年生には、このチームの持ち味でもある明るさと元気の良さを試合で思う存分発揮してもらい、自分達の達成できなかった「関東大会出場」という目標を達成してもらいたいです。これからも軟式野球部の応援をお願いします。



## 剣道部

山崎 誠弘

私達剣道部は、顧問の渡辺先生、斉藤先生のご指導の下、現在3年生7名、2年生5名、1年生5名の計17名で日々稽古に取り組んでいます。

私達は、勉強と部活の両立「文武両道」の中で、限られた稽古時間の中で、本当の意味での「強い剣道」を目指しています。本当の強さとはすなわち、試合で一本をとることだけに執着した剣道ではなく、剣道を通して最終的に自分に克つ剣道です。そのために私達は、自分達で練習を工夫し、今の稽古をより充実したものにするため、日々努力、精進しています。その中でOBや保護者など校外からのご支援もとても大きな支えとなっています。私達は、顧問の先生を始め、OBや保護者に感謝の気持ちを持ち、より緻密で揺るぎない剣道ができるよう努力します。

これからもご支援よろしくお祈りします。



## バスケットボール部

佐藤 栄成

私達バスケットボール部は、3年生8名、2年生9名、1年生9名の計26名で、顧問の長竹先生、坂本先生のご指導の下、日々の練習に励んでいます。強豪校を倒し、県優勝するという目標に向かい、チーム全員で支え合

いながらやってきました。

これから行われる総体やインターハイ予選では、強豪校より個々の力が劣る分、チームで団結し、心をつなげて一戦一戦全力で戦っていきたく思ひます。誰か一人が気を抜いてしまうと、チームが一つになることはできません。一人一人が自分だけでなく、チームでプレーするという気持ちを持って目標を成し遂げたいと思ひます。

このチームをこれまで支えて下さった沢山の皆様への感謝を忘れず、これからも精進していくので、応援よろしくお祈りします。



## 卓球部

齋藤 祐介

私達は現在、部員25名から成り、うち7名の3年生にとって次の高校総体が最後の大会です。

今年度から中島先生、長谷川先生、江原先生のもとで活動しています。先生方の指導は部員にとって心強く、新たな体制で練習もより充実度を増しているように感じます。

「強さ」を示すひとつの道、それは「勝つ」こと。なかなか大きな勝利をつかめずにいますが、日々の練習の成果を示すべきでしょう。強くありたいと望んでいます。だから、高校総体では強豪校を倒し、高高に「勝利」を持ち帰ってきます。個人戦も団体戦も、応援とひとつになって、最後まで全力で戦います。卓球部の応援よろしくをお願いします。



## ラグビー部

飯井 滉也

我々ラグビー部は、現在3年生6名、2年生12名、1年生8名の計26名で日々練習に励んでいます。新人戦では1回戦で惜敗、しかしその試合で高高ラグビー部が着実に成長していることがわかりました。そしてその成長を受け高高ラグビー部は秋に開催される花園予選に対する希望を掲げ、更なる努力に励むと共に、また、ラグビー人口が少なくなる今、ラグビーの楽しさを分かち合うため、日々活動しています。高高ラグビー部は全員がこの伝統のある部の誇りを胸に文武両道を根底とし、充実した高校生活を送っています。OBの方々や保護者の皆様の日々の御支援に心より感謝すると共に、御期待に応えられるような結果を残し、全国に名を轟かせるよう頑張りますので、今後とも応援宜しくお願いします。



## 陸上競技部

有吉 淳弥

私達陸上競技部は、顧問の田島先生、津久井先生、佐藤先生の御指導の下、3年生16名、2年生22名、1年生15名の計53名で日々の練習に励んでいます。限られた時間の中で最大の効果が得られるよう、各々で考え自身の目標を達成するため、日々努力を重ねています。また今年度は学校対抗での総合優勝を経験し、更なる強い団結力と高い意識が兼ね備わり、個人だけではなくチームとしてのレベルも向上しました。なので、一人でも多くのインターハイや関東大会、また一人でも多くが自己ベストを更新できるように普段からの準備を怠らず、しっかりとみんなで闘ってきます。

「全員での勝利、全員での栄冠」を目指しますので、ご声援のほど宜しくお願いします。



## 弓道部

佐藤 秀樹

私達弓道部は、現在3年生9名、1年生13名で日々練習に励んでいます。効率のよい練習を行ったり、先生や友人のアドバイスをきちんと理解し、定着させることで、自己の成長やチームの成長をしてきました。また一人一人が自分自身で目標を立て、それに向かい修練することで、部活動としてのよい活気、雰囲気が出来上がってきました。これからも、一層の修練とチームワークで、練習の成果を十分に発揮し関東大会に出場できるようにしていく所存です。

顧問の先生をはじめOBの方々、保護者の方々などへの感謝の気持ちを忘れず、部活のできる環境のありがたみを常に持ちながらこれからも精進していきたいと思えます。さらなる部の発展を目指して頑張っており、応援のほどよろしくお祈り致します。



## 山岳部

須賀 雅人

私達山岳部は現在、3年生11名、2年生10名、1年生21名で活動をしています。

月1回のペースで行われる月例登山に備えて、平日は観音山のマラソンコースを走ったり、ロッククライミング、筋力トレーニングを行ったりして体力作りに励んでいます。月例登山では土曜・日曜を使い谷川岳や武尊山など県内の山を中心に登っています。もちろん、総体に対する練習も怠っていません。設営の練習や読図、ペーパーテスト対策、パッキングの練習も随時行っています。

昨年度の総体では納得のいく結果を得られませんでした。しかし今年度こそは部員全員が力を合わせ優勝を目指していきますので応援よろしくお願いします。



## ソフトテニス部

高橋 啓純

私達ソフトテニス部は、関東・全国で勝つことを目標に日々練習に取り組んでいます。練習時間が限られているため、ボールをただ打っているだけでは勝てません。そのため、コート外でも一人一人が常に意識を高く持ち、考え、行動することが必要になってきます。過去に全国三位になった先輩達がありますが、その人達はこのようなことができている、誰から見ても「勝てるチーム」に見えていたと思います。その人達がやっていたことは最低限やり、さらにそれ以上のことをやり先輩方を超えていきたいと思っています。目標に向けて努力を重ね、部活動だけでなく勉強や学校生活をしっかりとやっていき、後輩に目標とされるようなチームにしていきたいです。

目指せ!全国制覇 高崎高校ソフトテニス部  
祝 関東大会 個人出場

ソフトテニス部OB会  
会長 丸山 博(68期)





## サッカー部

佐藤 尚

私達サッカー部は、現在3年生24名、2年生29名、1年生26名の計79名で活動しています。強豪校よりも少ない練習時間の中で工夫して、練習を質の高いものにし、群馬県で優勝、さらには関東・全国大会出場という高い目標を持っています。

また、部活動以外の生活面では、挨拶や礼儀などの当たり前なことがしっかりでき、社会に出た時に通用する人間形成も行っていきます。もちろん、文武両道を達成できるように日々仲間と切磋琢磨して勉強にも励んでいます。

これから一丸となってチーム全体の力をより向上させ、目標としている県優勝、関東・全国大会出場を成し遂げられるように全力で取り組んでいきますので、応援よろしくお願いします。



## 水泳部

神原 孝行

現在水泳部は3年生2名、2年生5名、1年生1名と計8名の小組織で構成されています。部員数は昨年に比べて激減していますが前田先生を筆頭に「量」ではなく、「質」を重視し精一杯努力をし続ける所存です。水泳部はこれと言った練習場所を設けてはおりませんが、本番の夏の大会に備えて、日々筋トレを行い、大会では全員が自己ベストを更新できることを水泳部のモットーとして掲げています。

昨年度は県大会総合7位、関東大会には個人やりレー種目多々出場していますが、部員の誰も全国大会のキップを手にすることができず、無惨な結果に終わってしまいました。なので今年こそは全国大会出場を第二段階の目標とし、本腰を入れて力の及ぶ限り努力をします。なにとぞ応援をよろしくお願い致します。



## スキー・スケート部

山田 駿

私達スキー・スケート部は現在3年生3人、1年生1人で活動しております。活動内容は冬は高校総体、FIS大会などの大会への参加、夏は各自で陸上トレーニングです。いわゆる「学校の部活」という感じではありません。しかし、他の部の様な拘束はないので、個人個人で今の自分に足りないものを分析し、自由なアプローチで目標達成をすることができます。この環境によって高生生のシンボルでもある「自主性」が養われていくように感じます。この「自主性」は私達が大会に臨む際に大きな自信を与えてくれます。

来年、3年生は受験がありますが、大会には参加したいと考えております。国体、インターハイでの入賞を目標にさらに精進して参りますので、応援よろしくお願いします。



## テニス部

高橋 大樹

現在テニス部は、3年生19名、2年生11名、1年生27名で活動しています。すでに3年生の大部分は引退した形になり、練習には団体戦に出場予定の数名が参加しています。このような状況下でも選手一人一人が意識を高め、引退した3年生も選手を支えていくことで万全のコンディションで試合に臨みたいと考えています。ここ数年間は、ベスト8を突破できず不甲斐ない結果に終わっているのが現状です。しかし、選手たちのモチベーションを上げていくことができれば、ベスト8は突破できない壁ではありません。選手は今まで共に部活に励んできた仲間の思いを胸に、そして、全員が高崎高校の代表ということを実感し精一杯戦ってきたいと思っております。応援よろしくお願いします。



## バドミントン部

近藤 広希

私達バドミントン部は、3年生5人、2年生8人、1年生1人で活動しています。顧問の小野先生、市川先生の指導の下、団体戦では県ベスト4、個人戦ではベスト8を目指し、日々練習に励んでいます。強豪校に比べ、練習時間、場所、共に限られているため、工夫を重ね、自ら先んで練習を行うことで、質の高い練習を心がけています。

昨年の新人戦では、悔いの残る結果となってしまいました。今年の総体、インターハイ予選では、日々の練習で得た技と自信を胸に全力で闘うので、応援よろしくお願いします。



## バレーボール部

松井 息吹

我々バレーボール部は、顧問の柴山先生、加邊先生のご指導の下、部員21名で日々練習に励んでいます。先日行われた新人大会では、大会のプレッシャーに負け、自分たちの力が出せずに敗北するという悔しい結果に終わりました。

これから行われる総体やインターハイでは、心を一つにして戦い抜き、優勝してこの雪辱を晴らしたいと思います。

3年生にとって最後の大会となるので悔いの残らない試合ができるよう、これからの練習に全力で励みたいと思っております。優勝を目指すとなると厳しい試合になると思っておりますので、応援よろしくお願いします。

**目指せ！  
極限の自己を！！**

高崎高校 陸上部 OB会 会長 木村隆一 (74期)

陸上部OB会ホームページ開設しました。  
<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

# 平成23年度 運動部活動状況

## 卓球部

インターハイ県予選  
団体 1回戦 0-3 太 工  
東京選手権群馬県予選  
ジュニアの部 柿沼 聡 ベスト64  
新人大会  
団体 1回戦 0-3 前 東

## バレーボール部

インターハイ県予選  
3回戦 2-0 藤中央  
準々決 2-0 前 商  
準決勝 1-2 伊勢崎 3位  
西毛地区大会  
2回戦 2-0 合 同(榛名・勢農)  
準決勝 1-2 高 工 3位  
全日本高校選手権県予選  
3回戦 2-0 高 工  
準々決 2-0 県 央  
準決勝 1-2 桐 商 3位  
新人大会  
1回戦 2-0 高 東  
2回戦 2-0 農 二  
準々決 2-0 高 北  
準決勝 0-2 伊勢崎 3位

## ソフトテニス部

インターハイ県予選  
団体 2回戦 3-0 高経附  
3回戦 2-0 高 北  
4回戦 1-2 農 二 ベスト 8  
個人 蛭間・池田組、岸・高橋組、奈良・中島組 ベスト16  
新人大会  
団体 2回戦 3-0 樹 徳  
3回戦 2-0 市前橋  
4回戦 0-2 健大高 ベスト 8  
個人 奈良・中島組 3位  
岸・高橋組、青木・代田組 ベスト16  
ハイスクールジャパンカップ  
深掘・黛組 予選リーグ 1勝1敗  
一年生大会  
個人 小川・大井組 ベスト 8  
関東選抜大会予選  
団体 2回戦 3-0 育 英  
3回戦 2-0 太 田  
4回戦 0-2 前 商 ベスト 8

## 空手道部

インターハイ県予選  
団体組手 5位  
個人組手 田中智士 ベスト16  
個人形 澁谷隼人、牧 洸大 ベスト16  
新人大会  
団体組手 5位  
個人組手 澁谷隼人 5位  
個人形 牧 洸大 5位

## 柔道部

《柔道競技》  
関東大会 団体戦出場  
インターハイ県予選  
団体 2回戦 3-1 高経附  
準々決 2-3 高 商 ベスト 8  
個人 100kg級 角田裕祐 準優勝

群馬県ジュニア選手権大会  
100kg級 角田裕祐 準優勝  
(関東ジュニア大会出場)

県新人大会  
団体 2回戦 2-3 勢 農  
全国高校選手権大会県予選  
団体 2回戦 2人残し 前 東  
準々決 2人残し 桐 一 ベスト16  
個人 90kg級 角田裕祐 優勝  
全国高校選手権大会  
個人 90kg級 角田裕祐 ベスト16

《相撲競技》  
関東大会 団体戦出場  
インターハイ県予選  
団体 決勝リーグ 0勝2敗 3位  
個人 角田裕祐 準優勝  
(インターハイ出場・国体出場)

県新人大会  
団体 決勝リーグ 1勝2敗 3位

## 硬式野球部

第93回 全国高等学校野球選手権 群馬大会  
2回戦 12- 2 下仁田(6回コールド)  
3回戦 12- 1 商大附(7回コールド)  
4回戦 6- 3 沼 田  
準々決 4- 7 高 商  
第64回 秋季関東地区高等学校野球大会 群馬県予選  
2回戦 3- 1 伊 商  
3回戦 2- 0 清 明  
4回戦 5- 0 県 央  
準々決 4- 3 育 英  
準決勝 7- 0 沼 田(7回コールド)  
決 勝 2- 7 健大高 準優勝  
第64回 秋季関東地区高等学校野球大会  
1回戦 4- 2 東海大望洋(千葉)  
2回戦 4- 2 東海大甲府(山梨)  
準決勝 3- 6 作新学院(栃木) ベスト 4  
第84回 選抜高等学校野球大会(31年ぶり2回目)  
1回戦 2- 7 近江(滋賀)

## 水泳部

関東高校県予選  
100mバ 神原孝行 4位  
400m自 増田泰誠 5位  
1500m自 増田泰誠 5位  
200m個メ 後藤大輝 2位  
" 神原孝行 4位  
400m個メ 後藤大輝 1位  
400mR 後藤・増田・関口・神原 4位  
800mR 神原・堀込・増田・後藤 5位  
400mメ R 神原・後藤・堀込・増田 5位  
(以上の種目は関東大会出場)

県総体  
100mバ 神原孝行 6位  
100m背 神原孝行 6位  
1500m自 増田泰誠 3位  
200m個メ 後藤大輝 3位  
400m個メ 後藤大輝 2位  
400mR 後藤・増田・下田・神原 3位  
800mR 神原・増田・後藤・下田 3位  
400mメ R 神原・下田・後藤・増田 6位  
男子総合第6位

新人大会  
50mバ 堀込怜士 4位  
100mバ 堀込怜士 2位  
200mメ R 小林・武藤・堀込・青木 6位

## ラグビー部

一年生大会(単独チームの部)  
10- 0 伊勢崎  
7-14 樹 徳  
5-36 農 二 4位  
高校選手権大会  
予選リーグ 58- 7 伊勢崎  
131- 0 関 学  
決勝トーナメント 53- 0 伊勢崎  
7-27 太 田 ベスト 8  
新人大会  
69- 0 合同(安総合・渋川・渋工)  
5-39 太 田 ベスト 8  
7人制大会  
24-12 桐 一  
5-20 桐 生

## 剣道部

インターハイ県予選 2回戦敗退  
学校対抗選手権 3回戦敗退  
学年別大会  
2年生の部 戸塚貴昭 ベスト16  
新人戦 2回戦敗退

## テニス部

インターハイ県予選  
団体 1回戦 0-2 共 愛 ベスト16  
個人 ダブルス 宮本・磯貝組 ベスト16  
新人大会  
団体 2回戦 4-1 高経附  
3回戦 0-3 前 商 ベスト16  
個人 シングルス 根岸 寛 ベスト32  
ダブルス 須藤・新井組 ベスト32

## 山岳部

第12回KAZOクライミングカップ2011  
磯部の八 (ビギナー) 5位  
第6回群馬県高等学校クライミング選手権大会  
磯部の八 (オープン) 3位  
田川未来也 (ビギナー) 1位  
藤井健人 (ビギナー) 3位

## スキー・スケート部

関東高等学校スキー大会県予選  
増村賢人 GS 2位・SL 4位  
山田 駿 GS 9位・SL 3位  
高校総体スキー競技兼全国高等学校スキー大会県予選  
増村賢人 GS 4位・SL 6位  
山田 駿 GS 9位・SL 9位  
関東高等学校スキー大会  
増村賢人 GS 6位・SL 9位  
山田 駿 GS 4位・SL 4位  
全国高等学校スキー大会(インターハイ)  
増村賢人 GS 出場  
全国高等学校選抜スキー大会  
増村・山田 SG・GS・SL 出場

## 陸上競技部

関東高校大会  
200m 齋藤郁磨 組 7位  
110mH 市川響太郎 5位  
3000mSC 石原 翔 組10位  
5000mW 佐藤誠一郎 3位  
4×100mR 東間・市川・齋藤・久新 失格  
4×400mR 東間・齋藤・関口・長壁 組 4位  
棒高跳 市川響太郎 5位  
走高跳 齋藤郁磨 7位  
三段跳 阪本哲郎 18位  
砲丸投 櫻井奏人 15位  
やり投 田代和也 18位

八種競技	田代和也	優勝
〃	関口俊介	4位
	男子総合成績	第6位

群馬県選手権大会		
1500m	大谷拓嗣	6位
5000m	牛窪浩平	4位
〃	田中 渉	6位
110mH	市川響太郎	2位
3000mSC	石原 翔	4位
5000mW	佐藤誠一郎	1位
4×100mR	東間、市川、齋藤、田代	3位
4×400mR	東間、齋藤、田代、長壁	5位

(上記のべ8種目で関東選手権大会出場)		
国体予選		
5000mW	佐藤誠一郎	1位
110mJH	田代健人	1位

全国高校総体		
八種競技	田代和也	27位
5000mW	佐藤誠一郎	失格
110mH	市川響太郎	組7位

学校対抗		
100m	東間央剛	3位
800m	川上 航	3位
110mH	市川響太郎	2位
400mH	田代健人	3位
3000mSC	高橋 快	5位
5000mW	佐藤誠一郎	1位
4×100mR	東間、市川、齋藤、高橋	5位
4×400mR	田代、齋藤、関口、長壁	3位
棒高跳	市川響太郎	3位
走幅跳	齋藤郁磨	2位
〃	関口俊介	5位
三段跳	阪本哲郎	2位
円盤投	関口俊介	4位
〃	櫻井奏人	5位
やり投	田代和也	3位

男子総合成績 第64回で初優勝		
関東高校選抜新人大会		
100m	東間央剛	6位
1500m	大谷拓嗣	9位
5000m	牛窪浩平	3位
4×100mR	齋藤、東間、久新、市川	4位
走幅跳	齋藤郁磨	9位
三段跳	阪本哲郎	5位
県高校駅伝 総合成績 第2位		
(12年連続関東高校駅伝出場権獲得)		
関東高校駅伝 総合成績 第23位		
新人駅伝競走大会 総合成績 第3位		

**サッカー部**

インターハイ県予選		
4回戦	2-2 常 磐 (5PK4)	
準々決	2-1 共 愛	
準決勝	0-2 伊 商	3位
高校選手権 群馬大会 決勝トーナメント		
1回戦	1-2 常 磐	ベスト16
新人戦		
2回戦	2-1 前 西	
3回戦	1-2 桐 一	ベスト16
高円宮杯 GuFA U-18リーグ 2011		
一部リーグ		6位

**バドミントン部**

インターハイ県予選		
1回戦	3-0 桐 工	
2回戦	3-0 前市高	
3回戦	3-1 館 林	
4回戦	0-3 太 商	
ダブルス	須藤・松井組	ベスト32

国体予選		
シングルス	須藤、松井	ベスト32
ダブルス	須藤・松井組	ベスト32
新人戦		
団体	1回戦 0-3 館 林	

**バスケットボール部**

群馬県高等学校バスケットボール選手権大会		
兼第64回全国高等学校総合体育大会県予選会		
2回戦	82-44 前 橋	
3回戦	95-63 富 岡	
準々決	93-95 高 商	ベスト8
第66回国民体育大会関東ブロック大会		
群馬県選抜(中島一樹)1名参加		
1回戦	90-81 東 京	
準決勝	98-84 神奈川	
決 勝	130-97 千 葉	優勝

(国体出場権獲得)

第66回国民体育大会		
群馬県選抜(中島一樹)1名参加		
1回戦	77-79 京 都	ベスト16
全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会		
2回戦	93-52 渋 工	
3回戦	98-68 桐 南	
4回戦	88-81 太 商	
準々決	65-78 前 商	ベスト8

西毛地区バスケットボール新人大会		
2回戦	72-55 健大高	
3回戦	89-31 安総合	
準決勝	78-55 中央中等	
決 勝	61-75 高 商	2位

第22回群馬県高等学校バスケットボール新人大会		
2回戦	105-39 前市高	
3回戦	72-59 桐 工	
準々決	56-123 桐 一	ベスト8

**軟式野球部**

第59回春季関東高等学校軟式野球大会		
1回戦	4-3 日出学園(千葉)	
2回戦	3-4 土浦日大(茨城)	ベスト8
全国高等学校軟式野球選手権大会 県予選		
1回戦	6-0 館 林	
2回戦	1-3 高 工	
秋季関東高等学校軟式野球大会 県予選		
1回戦	3-1 高 商	
2回戦	0-10 育 英	

**第47回高校総体 成績一覧(平成24年)**

総合順位 **5位**

**バレーボール部**

3回戦	2-0 県 央	
準々決	2-0 藤中央	
準決勝	1-2 桐 商	3位

**ソフトテニス部**

団体	2回戦 3-0 桐 生	
	3回戦 2-0 沼 田	
	4回戦 0-2 健大高	ベスト8
個人	青木・代田組	3位
	奈良・中島組	ベスト8

**サッカー部**

2回戦	7-0 前 南	
3回戦	7-1 館商工	
4回戦	0-1 桐 一	ベスト16

**剣道部**

団体	1回戦 4-0 前 西	
	2回戦 0-3 沼 田	
個人	野中智也	4回戦進出

**テニス部**

団体	1回戦 3-0 富 実	
	2回戦 2-0 興 陽	
	3回戦 0-2 中央中等	ベスト16
個人	ダブルス 高野・奥原組	ベスト32

**空手道部**

個人組手	澁谷隼人	5位
	田中智士	ベスト16
個人形	澁谷隼人	ベスト16

**バドミントン部**

団体	1回戦 2-0 藤中央	
	2回戦 2-0 館 林	
	3回戦 0-2 渋 川	

**軟式野球部**

1回戦	0-5 桐 生	
-----	---------	--

**陸上競技部**

100m	東間央剛	2位
800m	栗原勇貴	3位
1500m	大谷拓嗣	6位
5000m	牛窪浩平	2位
110mH	市川響太郎	2位
5000mW	大橋峻輔	5位
4×100mR	齋藤、東間、久新、市川	3位
4×400mR	東間、丸山、齋藤、鈴木	6位
走高跳	岡田大樹	6位
棒高跳	市川響太郎	2位
走幅跳	齋藤郁磨	5位
三段跳	阪本哲郎	2位
円盤投	宮入紳豪	3位
八種競技	有吉淳弥	3位
〃	川端 慧	4位
男子総合成績 第2位		

**バスケットボール部**

1回戦	107-17 孺 恋	
2回戦	104-49 県 央	
3回戦	64-82 桐 生	ベスト16

**山岳部**

1部	3位 (関東大会へ)
2部	優秀校

**卓球部**

団体	1回戦 3-0 高 工	
	2回戦 0-3 沼 田	

**ラグビー部**

1回戦	7-12 前 橋	
-----	----------	--

**柔道部**

《柔道競技》		
団体	1回戦 1-3 太 工	
個人	角田裕祐	優勝
	今井悠貴	ベスト16

《相撲競技》		
団体	決勝リーグ 1勝3敗	4位
個人	無差別 角田裕祐	準優勝

**硬式野球部**

2回戦	0-7 農 二(8回コールド)	
-----	-----------------	--

翠巒体育会役員名簿

(平成 24. 6. 28)

役職	氏名	期	運動部名	電話
会長	高橋 浩生	78	バレーボール	
副会長	藤木 正行	69	剣道	
〃	秋山 賢治	74	応援	
〃	清野 哲雄	74	サッカー	
〃	木村 隆一	74	陸上競技	
〃	清水 正一郎	75	硬式野球	
〃	内田 美樹	77	ラグビー	
〃	松本 基志	77	山岳	
〃	榊原 一好	79	バスケットボール	
〃	志田 登	82	柔道	
〃	北村 真行	85	テニス	
〃(情報部長)	堤 康高	71	卓球	
〃(編集局長)	田口 恵一	74	ソフトテニス	
〃(会計)	永尾 俊弘	70	水泳	
〃(監査)	吉井 章一	78	山岳	
〃	福島 早人	77	ラグビー	
〃	清水 元	91	硬式野球	
顧問	國峯 善次郎	50	サッカー	
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール	
〃	山口 正敏	58	卓球	
〃	原 到	78	バレーボール	
〃	坂本 弘	87	〃	
〃	高橋 孝史	97	〃	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	浦野 英孝	77	〃	
〃	滝野 修司	86	〃	
〃	関口 茂樹	63	柔道	
〃	庭田 登志男	68	〃	
〃	伊藤 俊一郎	92	〃	
〃	波多野 重雄	77	陸上競技	
〃	永井 正樹	80	〃	
〃	今村 孝之	80	ラグビー	
〃	黒石 康暢	81	〃	
〃	斎藤 全賢	75	水泳	
〃	須藤 聡	78	〃	
〃	角倉 信久	69	卓球	
〃	羽鳥 広平	104	〃	
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス	
〃	石田 和久	75	〃	
〃	浦野 克彦	78	〃	
〃	鈴木 伸生	80	応援	
〃	國峯 賢一	74	サッカー	
〃	安藤 英彦	86	〃	
〃	小林 均	77	硬式野球	
〃	赤沢 正喜	84	〃	
〃	清水 威	85	〃	
〃	田中 正宏	79	バスケットボール	
〃	佐藤 弘之	81	〃	
〃	斎藤 英敏	83	テニス	
〃	長谷川 泰三	83	〃	
〃	松本 潔志	84	〃	
〃	須川 光一	79	山岳	
〃	富田 和弘	85	応援	
〃(事務局)	伊藤 祐司	75	水泳	
〃(編集委員)	吉井 章一	78	山岳	
〃	梅澤 義宣	81	サッカー	
〃	橋爪 洋介	85	卓球	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	飯島 雅年	78	ラグビー	
〃	吉井 剛	80	硬式野球	
〃	藤井 正弘	81	応援	
〃	志田 登	82	柔道	
〃	浜名 和也	84	テニス	
〃	木村 晴彦	87	ソフトテニス	
〃	茂原 賢三	89	陸上競技	

役職	氏名	期	運動部名	電話
編集委員	塚本 浩史	99	バスケットボール	
〃	武山 雄	102	バレーボール	
事務局 局長	境原 尚樹	81	硬式野球	
事務局	岡田 準	86	テニス	
〃	柴山 俊広	103	バレーボール	

学校側顧問				
校長	羽鳥 進一			
副校長	高橋 俊雄			
教頭	市川 敏美			
運動部長	田島 正徳			

バレーボール	柴山 俊広・加邊 一芳
剣道	渡辺 正一・斉藤 利男
柔道	田中 利明・西村 淳也
陸上競技	田島 正徳・津久井 俊明・佐藤 幸弘
ラグビー	森田 達哉・新井 功・下田 信康
水泳	前田 敏明・萩原 克明・坂爪 誠
卓球	中島 康彦・長谷川 忠史・江原 悠一
ソフトテニス	吉澤 正明・小久保 博志・澤田 徳彦
応援	伊藤 信一・加藤 俊介・江原 悠一
サッカー	笠原 恵太・新井 悟・菅根 秀朗・間々田 功
硬式野球	境原 尚樹・關根 秀仁・島田 学・中島 康彦
バスケットボール	長竹 潤・坂本 直之
テニス	岡田 準・中川 浩之・吉澤 正明
山岳	井上 貴智・滝沢 恵一・東宮 英文
スキー・スケート	佐藤 幸弘・滝沢 恵一・長竹 潤・塚越 正隆
弓道	關根 秀仁
空手	間々田 功・東宮 英文・池永 真孝
軟式野球	遠山 聡・下田 真志・新井 初代
バドミントン	田島 悦男・沼野 隆・長谷川 忠史
	市川 高幸・小野 智信

OB会長名簿

運動部名	氏名	期	電話
硬式野球	川手 義昭	62	
柔道	関口 茂樹	63	
ソフトテニス	丸山 博	68	
剣道	藤木 正行	69	
水泳	永尾 俊弘	70	
応援	秋山 賢治	74	
サッカー	清野 哲雄	74	
陸上競技	木村 隆一	74	
ラグビー	内田 美樹	77	
山岳	松本 基志	77	
バレーボール	原 到	78	
バスケットボール	榊原 一好	79	
テニス	小池 俊明	80	
卓球	橋爪 洋介	85	

第31号翠巒体育会会報 第2回編集会議 (平成24年6月8日・高崎ビューホテル)



◎ [北村・テニス・85期] 「文武両道」。高の校是であり矜持をまさに具現化したような、硬式野球部における31年ぶり2度目の春のセンバツ高校野球大会(第84回)出場と、同大会における「応援団賞優秀校」に輝いた応援部の活躍の様子が当然ながら本号(31号)の巻頭特集を飾ることとなりました。再び、今夏も応援歌「翠巒」が、甲子園のアルプススタンドに響き渡ることを期待するものは、もちろん筆者だけではないはずでしょう。とはいえ、両部の活躍に直接刺激を受けたに違いない各運動部現役生のさらなる躍進も楽しみであり、各OB会も期待を寄せるところだと思います。その期待を含め、本号「翠巒体育第31号」を今回も各OB会、及び編集委員のご尽力により無事皆様のお手元にお届けできる運びとなりました。寄稿頂いた各位にはこの場をお借りして御礼申し上げます。